

SUMMER PROGRAM

IN PORTLAND, OREGON

オレゴン研修旅行 2017

2017.9.6～9.12



事前学習

オレゴン研修に参加する学生は、60分×4コマの事前学習の講義を受講します。講義を通じて、学生は、医療機関で使用される英語についての基礎的な知識を習得しました。また、研修先で円滑にコミュニケーションを取るために必要な英語表現も学びました。事前学習に参加することで、海外研修への不安を解消することができます。また、事前学習およびオレゴン研修を修了した学生には、本学の必修科目である「医療英語」の単位認定が行われます。

DAY 1

成田国際空港から出発し、オレゴン州ポートランド国際空港に無事到着！
ランチの後、楽しみにしていたオレゴン研修の始まりです！！



①

オレゴン健康科学大学（OHSU）の訪問



日米で医師免許を持ち、両国で医師として働いた経験を有する山下大輔先生 (Assistant Professor of Family Medicine, School of Medicine)の講義を受けました。そこで、両国の医療制度や医療従事者の役割の違いなど、その後の研修に役立つ基礎的な知識を学びました。実体験に基づいたお話は大変貴重でした。

②

オリエンテーション

ホテルチェックイン。
現地スタッフと合流し、翌日からの研修に備えてホテル内の会議室で
オリエンテーションを行いました。

DAY 2

① Providence St. Vincent Medical Center & Cardiac Rehabilitation

Providence Health & Services は、オレゴン州・ワシントン州・カリフォルニア州・モンタナ州・アラスカ州で病院や様々なサービスを行うグループです。ポートランドにも2つの病院があり、今年は St. Vincent Medical Center で看護・リハビリテーション・放射線など各分野の専門家からのミニレクチャーや遠隔地での映像を通じた診療、最新の車椅子機能についてデモンストレーション・体験もある研修を受けました。また、日本人看護師の方からは、日米の医療現場の比較、アメリカならではの症例、チーム医療など興味深く学びました。



Cardiac Rehabilitation（心臓病を抱えた方のリハビリ）の施設見学では、外来・手術直後・退院後を通じて行われているフィットネスセンターでの取り組みや、食生活指導では病院の

管理栄養士の方が会議室でリゾットを調理して試食させていただくという体験もでき QOL の大切さを学びました。病院敷地内に併設される乳癌センターや HEART センターの見学、病院カフェテリアで医療スタッフと間近にランチをとる等 1 日を通し肌で現地の医療現場を感じる貴重な体験となりました。



DAY 3

①

ドラゴンボート

Pink Phoenix Breast Cancer Survivor Dragon Boating Teamの方とドラゴンボートを体験しました。オールを漕ぐことによる腕の運動で乳がん治療の際の腕のむくみを解消することを学びました。その後、チームの方と一緒に昼食を取りながら歓談しました。



②

コンコルディア大学訪問



Department of Exercise and Sport Science を訪問しました。学生は、最新の測定機器を実際に手にとり、楽しんでいましたが、エビデンスベースで身体に与える影響を分析するということの重要性を学んだようです。その後、現地学生とキャンパスにてレクリエーションやキャンパスツアー等で親睦を深めました。

DAY 4

①

Susan G. Komen 訪問

乳ガンの撲滅にむけた取り組みを行っている NGO、Susan G. Komen のオフィスを訪問しました。アメリカならではのクイズ形式の講義は、とても分かりやすく楽しんで学ぶ事が出来ました。



②

Guide Dogs for the Blind 訪問

Guide Dogs for the Blind (盲導犬の訓練施設) では、卒業式に出席するという貴重な経験ができました。式場には子犬の時期を一緒に過ごしたボランティアの方々も多数来られて、訓練を終え新しいパートナーと巣立っていく姿を見届けているのがとても印象的でした。目の不自由な方の QOL の向上に盲導犬というものがどれほど役に立っているかを、数々の専門職スタッフ、ボランティアの方々からの説明、犬の為の医療施設や訓練用宿泊施設の見学を通じ、学びました。



お世話になった方々へ、感謝の気持ちを込めて、色紙をお渡ししました。



DAY 5

①

Free time

研修もついに5日目！！
この日は自由行動です！それぞれの
の時間を楽しみました。



DAY 6

①

移動&帰国

充実した研修を終えた学生達は無事に帰ってきました。
今回の研修も多くのスタッフ、各施設の関係者の方によって実のあるものとなりました。
本当にありがとうございました。

振り返り

帰国後、参加した学生・教職員で懇親会を行いました。
今回の研修を皆で振り返り、改めて充実した研修であったと実感していました。



参加学生より

Susan G Komen での講義を聴き、アメリカは日本と比べ、乳がんに対する運動が盛んだと感じた。乳がんサバイバーの方との交流の中で、週3回ドラゴンボートの練習をしていることや、食事会でも貴重なお話を伺うことが出来た。

診療放射線学科 学生より

Guide Dogs for the Blind の見学で一番印象的だったのは、盲導犬の訓練を受けていても、全ての犬が盲導犬になれるわけではないということだった。訓練中の犬と触れ合う中で、飼い主の要望に対して、盲導犬がしっかりこたえていたので、訓練の成果を感じ取れた。

リハビリテーション学科（理学療法学専攻） 学生より

コンコルディア大学訪問では、スポーツと科学のつながりを学ぶことができた。これからのスポーツは、科学的に分析し、効率のよい練習をするのがよいと再確認できた。

リハビリテーション学科（作業療法学専攻） 学生より

アメリカの看護師の仕事は、想像以上にハードで、とても難しいと感じた。アメリカは最先端というのは、よく聞いていたが、実際に詳しい話を聞くのは初めてだったので、とても勉強になった。大学の施設においても、様々な機械があり、見たことがないものも多く、大変驚いた。

看護学科 学生より

短い日程の中で、様々な体験をすることができ、充実していたので良かった。日本とは違って、アメリカでは家庭医の存在があり、どの科に行けばよいか分からないという事態を未然に防ぐ為、各専門医の所へ行く前にまず家庭医に診てもらおう制度がとても合理的だと感じた。

臨床工学科 学生より